

# 令和6年第3回富山県教育委員会議事日程

3月7日（木）午後4時30分

県庁4階大会議室

## 1 会議録の承認について

令和6年2月15日開催の令和6年第2回富山県教育委員会会議録の承認について

## 2 議決事項

議案第2号 博物館に相当する施設の指定に関する告示の件

生涯学習・文化財室長から説明し、原案のとおり可決した。

## 3 報告事項

(1) 臨時代理について（令和6年2月富山県議会定例会に付議する事案に対する意見に関する件）

教育企画課長から説明した。

(2) 第5回県立高校教育振興検討会議の開催結果について

県立学校課長から説明した。

(3) 令和6年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況について（令和5年12月末現在調査）

県立学校課長から説明した。

(4) 令和6年度富山県立学校入学者選抜の志願状況等について

県立学校課長から説明した。

(5) 公立小学校の廃止について（富山市）

小中学校課長から説明した。

## 4 今後の教育委員会等の日程について

## 5 議決事項

議案第3号 教育職員の人事異動に関する件

教職員課長から説明し、原案のとおり可決した。

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条7項により、議案第3号は非公開となりました。

議案第2号

博物館に相当する施設の指定に関する告示の件

博物館法第31条第1項の規定により、ギャラリー・ミレーを次のように博物館に相当する施設として指定したことを告示するものとする。

令和6年3月7日 提出

富山県教育委員会

教育長 萩 布 佳 子

富山県教育委員会告示第5号

博物館に相当する施設の指定について

博物館法（昭和26年法律第285号）第31条第1項の規定により次の施設を博物館に相当する施設として指定した。

令和6年3月8日

富山県教育委員会

教育長 荻 布 佳 子

施設名	所在地	設置者
ギャルリ・ミレー	富山市中央通り二丁目 1番20号	株式会社北陸銀行

## 博物館に相当する施設について

## ○博物館とは

	登録博物館	博物館に相当する施設 (指定施設)	その他施設
設置主体	地方公共団体、一般（公益） 社団・財団法人、宗教法人、 地方独立行政法人、民間の法 人など	制限なし	法律上の位 置付けなし
登録要件	館長・学芸員の必置 年間 150 日以上の開館など	学芸員相当職員の必置 年間 100 日以上の開館など	
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固定資産税や事業所税などの非課税措置等の税制上の優遇が適用</li> <li>・特別交付税の申請が可能</li> <li>・登録美術品制度に基づく美術品の公開が可能</li> <li>・美術品補償制度の利用が可能</li> <li>・希少野生動物種の個体の譲渡し等が可能 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録美術品制度に基づく美術品の公開が可能</li> <li>・美術品補償制度の利用が可能</li> <li>・希少野生動物種の個体の譲渡し等が可能 等</li> </ul>	

## (参考)

## 博物館法（抜粋）

**(定義) 第二条** この法律において「博物館」とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管（育成を含む。以下同じ。）し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、併せてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関（社会教育法による公民館及び図書館法（昭和二十五年法律第百十八号）による図書館を除く。）のうち、次章の規定による登録を受けたものをいう。

**(第五章) 博物館に相当する施設**

**第三十一条** 次の各号に掲げる者は、文部科学省令で定めるところにより、博物館の事業に類する事業を行う施設であつて当該各号に定めるものを、博物館に相当する施設として指定することができる（これにより指定されたものを指定施設という）。

- 一 文部科学大臣 国又は独立行政法人が設置するもの
- 二 都道府県の教育委員会 国及び独立行政法人以外の者が設置するもののうち、当該都道府県の区域内に所在するもの（指定都市の区域内に所在するもの（都道府県が設置するものを除く。）を除く。）
- 三 指定都市の教育委員会 国、独立行政法人及び都道府県以外の者が設置するもののうち、当該指定都市の区域内に所在するもの

臨時代理について（報告）

下記のとおり臨時代理したので、教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和34年富山県教育委員会規則第6号）第4条第2項の規定により報告します。

令和6年3月7日 提 出

富山県教育委員会

教育長 荻布 佳子

記

令和6年2月富山県議会定例会に付議する事案に対する意見に関する件

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定により知事から意見聴取のあった令和6年2月富山県議会定例会に付議する事案については、同意するものとする。

以上、教育長に対する事務委任等に関する規則第3条の規定により臨時代理する。

令和6年2月29日

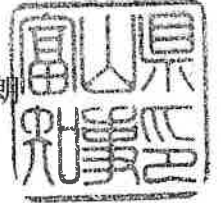
富山県教育委員会

教育長 荻布 佳子

財 第 127 号  
令和 6 年 2 月 26 日

富山県教育委員会  
教育長 荻布 佳子 殿

富山県知事 新 田 八 朗



富山県議会に付議する事案に対する意見について

令和 6 年 2 月富山県議会定例会に付議する次の事案のうち、教育事務に関する部分について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 29 条の規定により、貴委員会の意見を求めます。

記

令和 5 年度富山県一般会計補正予算（第 10 号）

# 令和5年度2月補正予算【追加提案分】（案）総括表

## 1 一般会計

教育委員会

単位：千円

区 分		既定予算額	補正予算額	計	構 成 比	既定予算に対する伸び率 (事業費ベース)
教育総務費	事業費	3,674,790	△ 235,960	3,438,830	5.1%	-6.4%
	給与費	988,995	0	988,995		
	計	4,663,785	△ 235,960	4,427,825		
小学校費	事業費	209,791	△ 45,200	164,591	32.4%	-21.5%
	給与費	29,502,693	△ 1,512,400	27,990,293		
	計	29,712,484	△ 1,557,600	28,154,884		
中学校費	事業費	185,959	△ 17,100	168,859	19.4%	-9.2%
	給与費	17,479,652	△ 765,000	16,714,652		
	計	17,665,611	△ 782,100	16,883,511		
高等学校費	事業費	8,613,116	△ 225,281	8,387,835	29.8%	-2.6%
	給与費	18,973,035	△ 1,416,550	17,556,485		
	計	27,586,151	△ 1,641,831	25,944,320		
特別支援 学校費	事業費	1,735,419	△ 133,994	1,601,425	11.3%	-7.7%
	給与費	8,604,025	△ 422,000	8,182,025		
	計	10,339,444	△ 555,994	9,783,450		
社会教育費	事業費	627,039	△ 32,887	594,152	1.3%	-5.2%
	給与費	571,417	△ 4,000	567,417		
	計	1,198,456	△ 36,887	1,161,569		
保健体育費	事業費	474,438	△ 7,098	467,340	0.7%	-1.5%
	給与費	141,274	0	141,274		
	計	615,712	△ 7,098	608,614		
合 計	事業費	15,520,552	△ 697,520	14,823,032	100.0%	-4.5%
	給与費	76,261,091	△ 4,119,950	72,141,141		
	計	91,781,643	△ 4,817,470	86,964,173		

## 2 繰越明許費補正

### (1) 追加

(単位：千円)

款	項	事業名	金額
教育費	教育総務費	県立学校教育振興計画推進費	49,839
	教育総務費	公立学校共済宿泊施設維持管理費	5,260
	高等学校費	県立学校実習事業費	5,286
	高等学校費	科学技術教育設備充実費	3,300
	高等学校費	運動場等整備費	84,710
	社会教育費	文化財保存整備費	10,052

### (2) 変更

(単位：千円)

款	項	補正前		補正後	
		事業名	金額	事業名	金額
教育費	高等学校費	学校修繕費(全日制)	316,263	学校修繕費(全日制)	388,355
教育費	高等学校費	学校修繕費(定時制)	3,500	学校修繕(定時制)	44,868
教育費	高等学校費	高等学校建設事業費	128,597	高等学校建設事業費	1,916,855
教育費	高等学校費	高等学校校舎等リフレッシュ事業費	226,500	高等学校校舎等リフレッシュ事業費	368,588
教育費	特別支援学校費	特別支援学校建設事業費	27,565	特別支援学校建設事業費	326,382
教育費	特別支援学校費	学校修繕費(特別支援)	35,837	学校修繕費(特別支援)	134,991
教育費	社会教育費	青少年教育施設等管理費	19,242	青少年教育施設等管理費	32,988



# 令和5年度2月補正(追加提案分)予算一覧表

## 1 一般会計

(単位:千円)

室課名	事業名	提案 見込額	財源内訳			備考
			国支出金	その他	一般財源	
教育企画課	全日制高等学校運営費 特別支援学校運営費	1,230		寄 1,230		富山工業高校、高岡工業高校及びしらとり支援学校への寄附金
	学校修繕費(全日制)	△ 27,605	負 △ 18,404	地 △ 8,300	△ 901	国負担金交付決定額の減
	科学技術教育設備充実費	△ 29,932	補 △ 14,962		△ 14,970	入札減
	高等学校校舎等リフレッシュ事業費	0	補 33,853	地 △ 25,000	△ 8,853	国補助金充実に伴う財源更正
	特別支援学校建設事業費	△ 6,144	負 △ 14,947	地 10,000	△ 1,197	事業の実績減
生涯学習・文化財室	県民生涯学習カレッジ運営費	△ 2,067			△ 2,067	人件費の実績減
	青少年教育施設等管理費	△ 474	補 513	地 △ 500 財運 6,862	△ 7,349	・入札減 ・基金充実に伴う財源更正等
	放課後子ども教室推進事業費	△ 5,863	補 △ 2,932		△ 2,931	国補助金交付決定額の減
	中学校放課後学習支援推進事業費	△ 2,244	補 △ 1,123		△ 1,121	国補助金交付決定額の減
	土曜日の豊かな教育活動推進事業費	△ 3,342	補 △ 1,479		△ 1,863	国補助金交付決定額の減
	社会教育団体振興費	0		財運 13,006	△ 13,006	基金充実に伴う財源更正
	文化財保存整備費	△ 18,553	補 △ 1,682	地 △ 6,000 納 △ 1,952	△ 8,919	国補助事業採択額の減等
	図書館費	△ 4,758		地 △ 1,000	△ 3,758	入札減
教職員課	少人数教育推進事業費	△ 2,800	補 △ 1,100	繰入 19,893	△ 21,593	報酬等の実績減
	学校多忙化解消推進費	△ 41,600	補 △ 2,900	納 △ 15,800	△ 22,900	報酬等の実績減
	小学校専科教員等配置事業費	△ 5,700			△ 5,700	報酬等の実績減
	教職員人事企画管理費	△ 88,600	補 △ 13,100		△ 75,500	報酬等の実績減
	小学校教職員費	△ 45,200			△ 45,200	報酬等の実績減
	中学校教職員費	△ 17,100			△ 17,100	報酬等の実績減
	高等学校教職員費	△ 50,200			△ 50,200	報酬等の実績減
	特別支援学校教職員費	△ 21,000			△ 21,000	報酬等の実績減

室課名	事業名	提案 見込額	財源内訳			備考
			国支出金	その他	一般財源	
県立学 校課	教員内地留学・海外研修 等推進費	△ 1,006			△ 1,006	事業の実績減
	県立学校教育指導研究推 進費	△ 3,939	補 △ 1,810	繰入 2,629	△ 4,758	・事業の実績減 ・基金充実に伴う財源 更正
	進路指導推進費	△ 1,500	補 △ 750		△ 750	事業の実績減
	特別支援教育振興費	△ 9,192	補 △ 3,064		△ 6,128	看護師配置数の減
	国際理解教育推進事業費	△ 13,629	補 △ 6,538	繰入 △ 2,591	△ 4,500	事業の実績減
	奨学資金特別会計操出金	△ 4,452			△ 4,452	奨学資金実績減
	公立高等学校奨学のため の給付金事業費	△ 25,613	負 △ 8,538		△ 17,075	国庫負担金事業の実 績減
	高等学校授業料等収納事 務費	△ 92,076	負 △ 92,076			国庫負担金事業の実 績減
	県立学校教育振興計画推 進費	△ 50,259			△ 50,259	事業実績の減
	特別支援学校通学運営費	△ 96,928	補 △ 96,928			新型コロナ対策増便分 の運行回数の減
	高等学校生徒海外派遣事 業費	2,347		負 584 繰入 1,763		円安、物価等の高騰に よる経費の増
	小中学 校課	地域連携教育推進事業費	△ 2,519			△ 2,519
幼児教育振興費		△ 804	補 △ 1,380		576	事業の実績減及びR4 国補助事業の精算
特別支援教育就学奨励費 事業		△ 10,122	負 △ 5,061		△ 5,061	国庫負担金事業の実 績減
保健体 育課	恩給及び退職年金費	△ 2,652			△ 2,652	受給者数減に伴う実績 減
	教職員健康管理費	△ 6,007			△ 6,007	健康診断委託費の実 績減
	公立学校共済組合富山支 部負担金	△ 4,494			△ 4,494	事務費負担の減
	公立学校共済宿泊施設維 持管理費	5,260		地 5,200	60	高志会館の震災復旧 経費に対する補助
	定時制高等学校夜間給食 充実費	△ 885			△ 885	受給者数減に伴う実績 減
	学校保健管理指導費	△ 4,455	委 △ 245	雑 245	△ 4,455	事業の実績減及びそ の他収入充実に伴う財 源更正
	学校安全対策費	△ 1,500		負 △ 1,197	△ 303	災害共済掛金の実績 減
	学校体育団体活動推進事 業費	△ 1,143			△ 1,143	全国大会等への派遣 選手数の減
事業費 計	△ 697,520	△ 254,653	△ 928	△ 441,939		

室課名	事業名	提案 見込額	財源内訳			備考
			国支出金	その他	一般財源	
給与費	小学校費	△ 1,512,400	負 △ 290,113		△ 1,222,287	給料・退職手当見込 額の減
	中学校費	△ 765,000	負 177,390 委 25,996		△ 968,386	
	高等学校費	△ 1,416,550		授 △ 96,111 入 △ 1,985	△ 1,318,454	
	特別支援学校費	△ 422,000	負 95,164		△ 517,164	
	社会教育費	△ 4,000			△ 4,000	
給与費 計		△ 4,119,950	8,437	△ 98,096	△ 4,030,291	
教育委 員会計		△ 4,817,470	△ 246,216	△ 99,024	△ 4,472,230	

※注) 負:負担金 補:補助金 委:委託金 寄:寄付金 地:地方債 財運:財産運用収入 納:納付金 繰入:基金繰入金 雑:雑入  
授:授業料収入 入:入学科

## 第5回県立高校教育振興検討会議の開催結果について

### 1 検討会議の開催

- ・令和6年2月14日（水）午前10時から午前11時30分まで、富山県民会館にて開催
- ・委員12名出席

### 2 主な意見等

#### (1) 県立高校教育振興の基本的な方針について(提言)(素案)

- ・「学びの質の向上」や「生徒の幅広い選択肢の確保」、「社会のニーズを踏まえた教育体制の整備」を実現するためには、生徒数や教員数を確保した一定規模以上の学校が必要だろう。
- ・素案に「様々な学校規模」とあることは喜ばしい。中規模校にも小規模校にも、それぞれメリットがあると感じており、通学している生徒にとって、それぞれの環境がマッチしていることが大事だと思う。
- ・新たな学び、多様な学び、未来を拓く学びといった時代や社会、地域の要請にこたえる高校づくりを具現化していく中心となるのは教職員。「目指す姿」の3つ目にある「教育体制の整備」にも含まれると思うが、魅力と活力ある高校づくりには、それを支える質の高い教職員の確保が必要。
- ・「令和の魅力と活力ある県立高校づくりに向けた6つの方向性」の「IV. グローバルに活躍する生徒の育成の推進」について、「グローバル」なのか「グローカル」なのかを考える必要がある。「グローカルな視点をもったチェンジメーカーの育成」という形にして、「それぞれの人生のウェルビーイングを求めていく」とすれば、いろいろなことが結びついてくるのではないかと思う。
- ・地域性があり、各地域に学校があることはとてもよいことだとは思いますが、小学校や中学校ではないので、多少遠くても自分たちで通うことは大切だと思う。
- ・多様な選択肢ということについては、卒業までに資格取得を目指す専門性まで求めると、教員数や設備などの関係から様々な学科・コースを全地域に配置することは難しいのではないかと思う。資格取得までは求めず、興味のある生徒には、「総合的な探究の時間」で学びの機会を与えることができればよいのではないか。
- ・中学校3年生で学科まで選ぶのは大変厳しいものがあるので、工業科における一括募集を実施し、1年間工業系の学びを経た上で、自分で選べることは大変よい進路選択になるのではないか。
- ・市町村との意見交換会やフォーラムにおいて、地域によっては土木系の学科・コースの設置を求める声があった。各地域にすべての学科を設置することは難しいかもしれないが、様々な分野に目を向けられるような教育活動を組み込めないか。フィールドワークが必要であれば、民間企業や市町村との連携により学びを深めていけるようなものも富山県らしいあり方ではないか。
- ・情報活用とデータサイエンスは、普通系、職業系を問わず、カリキュラムに組み込んでいただきたい。

- ・商業科については、マーケティングが重要と言われている。観光が全世界的に大きな産業になっているので、商業科における学習の中に、観光が取り入れられることもあるのではないか。
- ・定時制・通信制については、高校からでも学び直しができると記載されている。定時制における取組みをもっと保護者や中学校側に伝えていただける機会があるとよい。
- ・この提言について、各学校で教員中心のワーキングチームなどを作り、現場の先生が実際に考えて実行するような仕組みをつくることも必要になるのではないかと。ただし、教員だけでは対応できない部分もある。外部人材に関わってもらう機会を増やさなければ、学科・コースの魅力化は難しいのではないかと。思う。
- ・「3. 様々なタイプの学校・学科等に関すること」について、それぞれにメリットがあり教育的効果もあると考えているが、教員配置や教育課程に対応した施設設備の充実が必要。県教育委員会だけで決めることはできず、他の関係部局や各種団体とも十分に協議をしていく必要があると思う。
- ・現在、設置されている中高一貫教育校は、受験のための勉強をするというような学校が多いと感じている。そうではなく、地域に視点を置いた中高一貫教育校を設置することが一つの方法になると思う。そのためには、市町村教育委員会や市町村長を含めた関係機関と協議しながら、今後も検討していけばいいのではないかと。思う。
- ・国際バカロレア認定校については、資格を取るために、先鋭した子どもを養成していくという点ではいいと思うが、現時点ではこの資格を取るための足かせが大きく、難しいと思う。前回の検討会議でもあったように、他の方法でも、国際化やグローバル化に対応した教育ができるのであれば、そこから進めてはどうか。
- ・外国籍の子どもたちは増えている。外国人生徒に対応できるような資格を持った方の発掘や人材確保などを県の方で行っていただけると大変ありがたい。
- ・昨年末、文部科学省から「高等学校DX加速化推進事業」の方針が出され、高校段階においてデジタルを活用した探究的な内容の学びの実施を目指すということが記載されている。それを実現するために、まずは富山県の全学校において通信ネットワークの環境を十分に整備することが必要ではないか。
- ・現状に加えて多様な施策を進めていく場合、リソース不足は必至。現状の整理や見直しに加え、IoTやDXといったデジタル技術も取り入れていくとともに、専門性が求められる部分は、分業と連携を進めるなど、生徒が生き生きと学びに向かうことのできる環境を作っていただきたいと思う。
- ・各会場のフォーラム等に参加したが、どのご意見もそれぞれの立場から大変理解できるものだった。物事を議論する際は、総論と各論、また全体最適と部分最適ということがある。各論や部分最適のご意見をしっかり踏まえ、「再編検討の方向性」のただし書きにもあるように、実際のことをしっかり考慮した上で、全体の方向性は一定の基準をもった上で、しっかりと進めていくべきであると思う。

### 3 今後の予定

- ・今年度中に、(1) 県立高校の再編に関する学校規模・基準に関すること、(2) 県立高校の学科・コースの見直しに関すること、(3) 様々なタイプの学校・学科等に関することについての検討会議としての提言をとりまとめる予定。

令和6年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況について  
(令和5年12月末現在調査)

令和6年3月7日  
教育委員会 県立学校課  
経営管理部 学術振興課

令和6年3月高等学校卒業予定者の12月末現在の就職内定状況は、就職希望者1,516人に対し、就職内定者は1,483人、内定率は97.8%となった。  
都道府県別の就職内定率では、昨年に引き続き富山県は全国第1位であった。

		卒業予定者数 (a) 人	就職希望者数 (b) 人	就職内定者数 (c) 人	就職内定率 (d)=(c)/(b) %	全国 就職内定率 %
令和 5年12月	県全体	8,051	1,516	1,483	97.8 (全国1位)	91.1
	(うち県立)	(6,305)	(1,124)	(1,102)	(98.0)	
<参考> 令和 4年12月	県全体	8,303	1,622	1,586	97.8 (全国1位)	90.9
	(うち県立)	(6,602)	(1,189)	(1,169)	(98.3)	

※ 調査対象校種: 公立、私立の高等学校(全日制・定時制)  
※ 調査対象生徒: 民間事業所、公務員、自営等全ての就職希望者の状況をとりまとめたもの。

令和6年度富山県立学校入学者選抜の志願状況等について

令和6年3月7日  
県立学校課

みだしの件について、以下のとおり報告致します。

1 県立高等学校全日制の課程入学者選抜

学校・学科数		34校82学科
募集定員		6,106名
推薦入学者選抜	学校・学科数	27校62学科
	募集人員	1,203名
	受検者数	1,078名
	合格内定者数	918名
一般入学者選抜	募集人数	5,188名
	志願者数	5,248名(志願倍率1.01倍)

- ・一般入学者選抜  
学力検査実施期日 3月7日(木)・3月8日(金)  
追検査実施期日 3月12日(火)

[合格者の発表] 推薦入学合格内定者と一般入学合格者を併せて、3月15日(金)午後0時30分に各志願先高等学校で発表

2 県立高等学校定時制の課程(単位制)入学者選抜

学校・学科数	5校12学科
募集定員	約840名
志願者数	267名(参考志願倍率0.32倍)

- ・前期第一次選抜  
検査実施期日 3月7日(木)・3月8日(金)(面接予備日)

[合格者の発表] 3月15日(金)午後0時30分に各志願先高等学校で発表

3 県立特別支援学校高等部・幼稚部入学者選抜

(1) 高等部B日程・幼稚部

	高等部	高等部(訪問教育)	幼稚部
学校数	10校		3校
募集人員(定員)	約208名	若干名	若干名
志願者数	115名	0名	2名

[合格者の発表] 3月15日(金)午後0時30分に各志願先特別支援学校で発表

令和6年3月7日  
小中学校課

公立小学校の廃止について（富山市）

1 廃止する学校

（1）学校名、位置及び廃止年月日

学校名	位置	廃止年月日
富山市立樫尾小学校	富山市八尾町小長谷349番地	令和6年3月31日

（2）廃止の理由

児童数の減少に伴い、樫尾小学校を廃止し、八尾小学校に統合。

（3）児童の処置

八尾小学校に通学する。



参 考

## 今後の教育委員会等の日程について

- 令和6年3月18日(月) 16:00 予定  
教育委員会 (県民会館 701 号室)